

2023年度 神還連大会 傘寿の部 実施要項

神還連 傘寿の部担当
副会長 荒川 耕吉
大会事務局長 竹内 才司

1 目的

- ① 傘寿の部を神還連大会として位置付け、活力アップと健康増進支援し生涯野球の推進を図る。
- ② 試合は全員出場と且つエキシビジョン的に楽しめる、親善試合を主な目的とする。

2 チーム編成と試合形式・試合数

- ① 各ブロックの川崎・横浜2・湘南・県央2 計 6チームによる年間総当りリーグ戦とする。
年間 各チーム 5試合、総試合数 15試合を行う。
- ② 登録選手は各チーム15名以上とし、神還連に会員登録された選手とする。
- ③ 傘寿チームの安定的な活動を維持するため、当該年度中に79歳に達する神還連登録済選手を人数制限なく登録する事が出来るが、同時出場は3名までとする。但し、バッテリーは不可とする。

3 大会要項&特別規則

- ① リーグ戦は7イニング制とし110分を超えて新しいイニングに入らない。同点時は引分とする。
得点差によるコールドゲームはなしとする。
- ② SDH制(DH選手が守備にもつける)を採用し、出場選手は10名とする。(10人攻撃、9人守備)
- ③ リエントリー(再出場)制度を導入する(但し、79歳は除く)。〈原則全員出場が主目的〉
・攻撃時、打者Aの代打又は代走でBが出場した後、退いたAが再び守備に着く事が出来る。
・このリエントリーは打者一巡後なら何回でも可とする。
・投手が交代して退いた場合、再登板は一回のみ可とする。
- ④ 臨時代走は控え選手で随時可とする(但し、79歳は除く)。
- ⑤ ユニフォーム&背番号等は各自の所属チーム用で可とする。
- ⑥ 試合に出場しないチーム代表・監督・連絡責任者・スコアラー・手伝い等の年齢は問わない。
- ⑦ その他は神還連大会要項・細則に準じる(スコアラー・手伝いは当日メンバー表に記入で可とする)。
- ⑧ メンバー表には79歳選手とスコアラー・手伝いを明記すること。

4 大会運営(使用球場及び審判等の担当区分)

- ① 当日の運営は、使用球場地のブロックが担当する。
- ② 使用球場は、つきみ野 球場(主会場)と、他に1~2球場(検討中)。
- ③ 審判は3人制とする。球審：有資格者 塁審：神還連に会員登録された選手

5 大会参加料(運営費：球場使用料、審判料、球場担当管理費、通信費等)

- ① 大会参加料 12,500円/チーム(1試合 2,500円×5試合予定)

6 大会日程

- ① 年間 リーグ戦を 1日2~3試合(基本：月曜日)行う。

7 表彰

- ① 生涯野球に親しむ観点からチーム表彰は行わず、各チームから1名の個人表彰を行う。
その内の一位チームから最優秀選手賞を1名、他のチームから優秀選手賞として5名を表彰する。

8 注意事項

- ① 試合当日は体調管理とコロナ感染防止健康チェックリストの確認を実施して下さい。
- ② 各チーム、各自健康保険証の持参をお忘れなき様お願い致します。
- ③ 出場選手はスポーツ保険に必ず加入してください。神還連では賠償責任保険に加入します。
- ④ 車の事故防止の為、駅に近い球場ですので原則として電車をご利用ください。

9 関東傘寿大会

2023年度関東傘寿大会は、輪番制により神奈川傘寿B(湘南・県央)が参加する。

以上